

教育研究評議会議事要旨（案）

日時 平成16年 4月13日（火） 13：30～16：40
場所 事務局大会議室
出席者 遠藤（学長・議長），大関，中澤，久慈，藁科，佐藤（三），兼子，南條，豊川，山寺，
丹野，矢島，石堂，星野，佐藤（敬），佐々木（甚），宮田，荒川，佐々木（大），
工藤，相川の各評議員
事務局 渡邊総務部長，片野学術情報部長，吉田総務課長，齋藤入試課長他

配付資料

- 資料（事前配付） 教育研究評議会議事要旨（案）（4月1日開催分）
- 資料（番号なし） 委員名簿
- 資料1 平成16年度弘前大学入学者選抜個別学力検査実施結果
- 資料2 弘前大学入学者選抜方法の抜本的改善について
- 資料3 管理運営規則新旧対照表
- 資料4 管理運営規則（抜粋）
- 資料5 休職理由書・診断書・宿院就業規則（抜粋）・職員の休職及び復職に関する規程
- 資料6 （様式1）
- 資料7 平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」申請書
- 資料8 21世紀教育センター運営委員会報告要旨
- 資料9 21世紀教育センター専任教員の配置について
- 資料10 研究・施設マネジメント委員会報告
- 資料（番号なし） 教育・学生委員会（第1回）議事要録（案）

議事に先立ち，議長から，新任の渡邊総務部長及び齋藤入試課長の紹介があった。
続いて，4月1日開催の教育研究評議会議事要旨（案）の確認が行われ，承認された。

審議事項

1 本学における入学試験対応について

- (1) 平成16年度弘前大学入学者選抜個別学力検査の実施結果について
教育・学生担当理事から，資料1に基づき，実施結果について報告があった。
実施結果の概要は，次のとおり。

募集人員 1,350人 志願者 5,488人（昨年比 933人）
受験者 4,279人（昨年比 853人）
合格者総数 1,445人（割増合格者 95人）
入学手続完了者 1,393人
私費外国人留学生（定員枠外） 志願者 17人 受験者 13人
合格者 10人 入学手続完了者 9人

- (2) 弘前大学入学者選抜方法の抜本的改善について

議長から，平成14年12月25日に昆副学長あて「弘前大学本学入学者選抜方法の抜本的改善」についての検討を諮問していたが，平成16年3月25日付けで答申が出されている。この課題の検討に当たり，「最近の弘前大学の入学志願者の動静分析」ワーキンググループ委員長の倉坪理工学部教授，「弘前大学入学者選抜方法の問題点の解析」ワー

ーキンググループ委員長の伊藤人文学部教授に、それぞれワーキンググループでの検討結果を報告してもらうため、出席願っている旨説明があった。

続いて、倉坪ワーキンググループ委員長から、資料2に基づき、入学志願者の減少傾向、県内受験者の動向、高等学校学力低下と推薦入試を初めとする入学試験の多様化、入試問題出題・採点・管理にかかわる教職員組織、大学の組織、入学者選抜要項や学生募集要項等の入試広報資料の問題点、問題点の解消のための提言など、検討結果の報告があった。

また、伊藤ワーキンググループ委員長からは、個別学力試験のあり方（アドミッション・ポリシーとの関わりを踏まえて）、大学入試の問題点、出題ミスをなくすために、センター入試科目との関わりからの検討、入試業務のあり方（業務体制の確立をめざして）、出題・採点委員の編成方法についての確認、出題・採点業務に対する評価、推薦入試の在り方について（合格者に対するアフターケアなど）など、検討結果の報告があった。

説明の後、本学会場以外の受験会場設定、英語試験の在り方、試験形態、高等学校の調査票、大学側のポリシー、出題ミスの防止、前期・後期の問題などについて意見交換が行われ、議長から、改善すべき点は改善し、次年度以降の入学試験対応について、今後検討を進めていきたい旨説明があった。

2 管理運営規則の一部改正について

議長から、資料3に基づき、教育研究評議会評議員に学術情報部長を加えるための一部改正案について諮られ、審議の結果、了承され、役員会へ提案することとした。

3 人事苦情処理室室員の推薦について

議長から、資料4に基づき、管理運営規則第110条第2項第2号の規定による人事苦情処理室室員の推薦について説明があり、本評議会として下記職員を推薦したい旨提案があった。

続いて審議の結果、議長提案のとおり承認された。

教員 医学部 神谷晴夫 教授

農学生命科学部 高橋秀直 教授

教員以外の職員 教育学部 福村 徳 事務長

学務部 樺澤美代子 学生課課長補佐

報告事項

1 教員人事

(1) 教員の休職について

医学部長から、資料5に基づき、附属病院 寺田一仁助手の休職について報告があり、了承された。（休職期間平成16年4月15日～平成16年5月21日）

(2) 教員の昇任・採用について

人文学部長から、資料6に基づき、次のとおり報告があった。

李 永俊（弘前大学人文学部講師）の助教授昇任

医学部長から、資料6に基づき、次のとおり報告があった。

木立るり子（弘前大学医学部助手）の講師昇任

嶋村 則人（弘前大学医学部助手）の講師昇任

浅野研一郎（弘前大学医学部附属病院助手）の講師昇任

三浦 弘行（弘前大学医学部附属病院助手）の講師昇任

農学生命科学部長から、資料6に基づき、次のとおり報告があった。

福沢 雅志（Postdoctoral fellow; Department of Anatomy and Physiology, University of Dundee by a Wellcome Trust.）の助教授採用

2 平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」について

21世紀教育センター長から、資料7に基づき、申請書に記載されている本学の基礎情報、21世紀教育センターの設置・運営体制、21世紀教育の担当評価・成績評価、FD・広報活動、将来の展望など取組状況の概要について説明があった。

3 21世紀教育関係

(1) 21世紀教育センター運営委員会

21世紀教育センター長から、資料8に基づき、次の事項の概要について説明があった。

- ・ 21世紀教育センター規則の一部改正
- ・ 弘前大学における外国人留学生の21世紀教育科目履修の特例に関する内規の一部改正
- ・ 平成16年度における21世紀教育科目及び国際交流科目から共通教育科目への読み替え表
- ・ 平成16年度学外非常勤講師資格審査
- ・ 平成16年度非常勤講師による授業計画の変更
- ・ 平成16年度開講計画の変更
- ・ 平成16年度前期開講時の対応
- ・ 平成16年度北東北国立3大学単位互換（集中授業方式）による受入科目
- ・ 21世紀教育科目における編入学者に対する既修得単位認定基準
- ・ 平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」の公募

(2) 21世紀教育センター高等教育研究開発室について

21世紀教育センター長から、資料9に基づき、同センター内に設置される高等教育研究開発室の必要性、専任教員の配置形態、任務、配置教員の採用・昇任等について説明があった。

報告後議長から、高等教育研究開発室については、設置、教員配置（1名）する方向で枠組を了承し、具体的なことは次回評議会で説明、検討したい旨発言があり、了承された。

4 委員会報告

(1) 教育・学生委員会

教育・学生担当理事（同委員会委員長）から、資料（番号なし）に基づき、4月9開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- 教育・学生委員会の運営
- 教育・学生委員会内規（案）
- 教育・学生委員会審議予定事項等
- 教育・学生委員会各委員の役割分担等
- 入学料免除の選考基準
- 総合文化祭推進委員会委員の選出

(2) 研究・施設マネジメント委員会

研究・施設マネジメント担当理事（同委員会委員長）から、資料10に基づき、4月7日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- 副委員長の選出
- 委員の任期
- 研究・施設の課題
 - ・ 知的財産創出本部について
 - ・ 弘前大学出版会設立準備会について
 - ・ 研究・施設マネジメント委員会に対する施設環境部のレクチャーについて など

各報告の後，議長から，次のとおり説明があった。

- (1) 平成16年4月1日付けで，職員の福利厚生，教育・研究支援などを目的に，弘前大学生協と無償貸与の業務委託契約を締結したこと。
- (2) 学生就職支援センターを全学でサポートし，学生の就職支援を行うこと。
- (3) 各学部においては，学生の定員割れを起こさないようにすること。
- (4) 理工学部及び農学生命科学部においては，大学の評価等にも関わることから，J A B E E 対応に努めること。
- (5) 7月発足予定の弘前大学出版会をサポートしていくこと。
- (6) 地域貢献，知的財産創出の観点から，地域共同研究センターを充実させること。また，4月1日に開設した東京事務所を拠点に，学生の就職支援，産官学の連携を強化すること。
- (7) I S O 1 4 0 0 1 の取得に向けて検討を進めていくこと。
- (8) 法令等に基づき，化学物質の管理を徹底すること。など

5 その他

議長から，今後本協議会を次のとおり開催する旨説明があった。

次回 5月11日(火) 13時30分から

次々回 6月 8日(火) 13時30分から

以 上

